

COLUMN

鎌倉の猫事情 第十二話

ひゅ-ほろほろほろ…ぴゅるるる…

ここ鎌倉の駅前小町通りでも、ほんの十数年前には真夜中にこんな風に高く鳴く声が聞こえました。なんだと思いますか？ ミズクです。あの奇っ怪な風貌の鳥がこんな町の中で鳴いていたのです。なんとか枝に泊まって鳴いている姿を見てみたかったのですが、真夜中のしかも2時頃、とうとう姿を見つける事は出来ませんでした。

彼らの狙いは、昼間の光を避けて闇を横行するねずみや猫、町に暮らす小動物達です。現代のしかも町中とは言え、獐猛な敵に立ち向かう牙を持たないもの達は、闇の中を好んで活動します。ミズクは闇夜の小町通りに目を光らせていたのです。

十年ほど前、鎌倉のあちこち、小町通りにまで狸が現れた事がありました。当時は『狸が小町通を駅に向かって歩いていった』とか、『夜な夜な狸が庭先に現れて窓越しにこちらを見ている』とか、さまざまな怪情報が飛び交っていました。しかし2~3年もすると、夜中の狸はすっかり姿を消してしまいました。

寂しい気もしますが、猫やねずみ達はさぞ安心したことでしょう。

狸達は人家に近づきすぎた為に犬の病気に罹って死んでいったということです。もともと山の具合が悪くなって川伝いに町に下りて来ていたのですが、カラスのような順応性もなく、見かけによらずひ弱なたちだったのでしょ。

我が家のゲーニー君も、正当な血統の猫として夜の行動が活発です。シャムの血を受けて体のバネも強く、ミルクホールに住み着いて3ヶ月ほどすると、身の軽さと敏捷な運動神経を発揮し始めました。

辺りが闇に包まれ始めると、俄然はりきりだし、木の上にも登っているつもりなのか、家中の棚という棚に駆けあがり、そこら中のものを蹴落としてまわります。

時折、天井を見上げて不思議そうに遠吠えをしたり、棚から棚へ飛び移る時などは、まるで空を飛ばうとるように、暗闇の中、前足をハタハタと羽ばたかせて飛んでいきます。その異様な行動は、元気といえば元気ですが不気味といえば不気味です。その上に、生来の極端な寂しがりや。お店が営業中、一人きりになるとミルクホールの境のドアの前で悲しげに鳴き続けています。

ゲーニー君のお嫁さんは一体いつ現れるのでしょうか。

お嫁さんがくれば、異様な行動も寂しがりやも少しはおさまるのでしょうか。

不安は、募ります。

下段第十三話に続きます



COLUMN

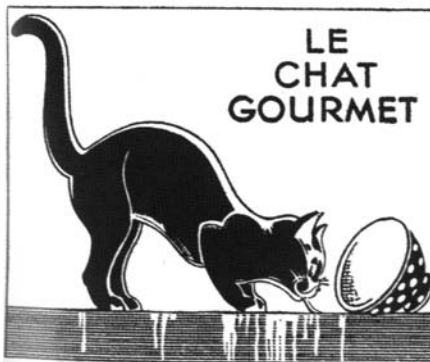
鎌倉の猫事情 第十三話

さて、こちらはゲーニー君と赤い糸で結ばれたまだ見ぬお嫁さんの実家です。場所は鎌倉から遠く離れた、とある骨董やさんのお家です。この家なかなかの大家族。一家の大黒柱は骨董業で家族を支えるお父さん。通称梅ちゃんと呼ばれ、中部関西地区の骨董業界では真面目で信頼の置ける人物としてちょっと名の知られた人です。そしてその梅ちゃんをしっかりと支える控えめな妻みち子さん。梅ちゃん自慢の学力優秀な大学院生の長男を筆頭に二男一女、そして最近おじいさんに先立たれ、寂しそうに暮らすおばあさん。

その他犬二匹、猫数匹、九官鳥、鳩…どこかの蔵のガラスケースの中に鳩の巣があるのを見つけ、『放っておいたらひなは死ぬ』と引き取って育てているそうです。それに家中の骨董の壺やら割れた瓶の中に蟹数匹、金魚、鮒、めだか多数と、数え切れない大家族です。ゲーニー君が三重県で産声をあげた2ヶ月後、梅野家の一員である黒猫が身ごもりました。お母さんの黒猫は、梅野家の一人娘が拾って可愛がっていた猫です。丁度その頃、梅ちゃんが骨董の引き取りに近所のお屋敷を訪ねたところ、猫も一緒に引き取ってくれまいかと頼まれ

連れ帰った雄猫が家族に加わり、2匹の間に愛が芽生えたものだそうです。お父さん猫は立派な風貌のチンチラという種類の大きな雄猫で、大きなお屋敷からいきなり庶民的な大家族の中に移り住むことになっても、大物らしい風格でゆったりと暮らしていたそうです。

先住の古参の白猫やら灰色猫や



ら茶トラ猫達は、彼を新しい仲間として迎え、黒猫は5匹の可愛い子猫を産みました。

梅ちゃんは子猫が産まれたらゲーニー君のお嫁さんにしようと考えていたようです。

ゲーニー君の寂しい思いを汲んでいたのでしょうか。

黒猫が産んだのは、3匹の白猫と2匹のトラ猫でした。

子猫達が乳離れをする2ヶ月間を待って、

いよいよ待望のお嫁さんを迎えに行く事にしました。

箱の中には可愛い子猫たちが5匹。

わかりやすいように女の子には赤いリボン、男の子には青いリボンがつけてあります。

どの子も元気で可愛い赤い口をいっぱい開けて泣いていました。

マスターが、『うん、この子だ、この子にしよう』と

一匹の可愛い白猫を取り上げました。

ついにゲーニー君のお嫁さんが決まりました。

to be continued

internet

<http://www.milkhall.co.jp/>

ミルクホールタイムスは、インターネットのホームページで掲載しております。アンティーク情報や、カフェ・レストランの紹介、家具、骨董の修復のページなどあります。インターネット上でミルクホールのチーズケーキやティカップ、骨董品の購入もできます。また、書き込みのできるメッセージボードへの、ご意見ご感想、等お寄せ下さい。

